

2014 年 6 月 2 日  
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦  
担当ワーキンググループ主査 柳 憲一郎

ウズベキスタン共和国 トゥラクルガン火力発電所建設事業  
(協力準備調査(有償))  
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2014 年 5 月 12 日(月) 14:01～16:54
- ・場所：JICA 本部 (会議室：1 階 112 会議室)
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、作本委員、清水谷委員、早瀬委員、原嶋委員、柳委員
- ・議題：「ウズベキスタン共和国トゥラクルガン火力発電所建設事業(協力準備調査(有償))」ドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
  1. ウズベキスタン共和国トゥラクルガン火力発電所(協力準備調査(有償))ドラフトファイナルレポート
  2. 環境影響評価報告書(EIA)
  3. 用地取得・住民移転計画書(LARAP)
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第48回委員会)

- ・日時：2014 年 6 月 2 日(月) 14:30～17:15
- ・場所：JICA 本部(会議室：113 会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全体事項**

1. プラント及び従業員の生活等から排出される生活関連排水について、適切に処理されるよう指導確認すること。排水中に重金属等が含まれる場合には、その影響について確認し、モニタリング等で適切に対応するように指導確認すること。
2. トランスフォーマー及びタービンの廃油の再利用の用途について確認し、最終報告書に記載すること。
3. 廃バッテリーの埋め立て処分が環境保全上適切になされるよう指導確認すること。

### **スコーピング・マトリックス**

4. 不可分一体事業であるアクセス道路の建設及び供用に関する環境社会影響の検討のプロセスを、最終報告書に適切に記載すること。
5. 「Accidents」の建設及び供用段階の評価を、BではなくAに修正すること。
6. 送電線鉄塔の建設、維持管理に関して、その環境保全対策が適切に実施されるよう指導すること。
7. 建設中及び供用開始後における地元住民の飲料水不足の問題について、スコーピング表に含め、その影響を最終報告書に記載すること。
8. 発電所へのガス供給によって地元住民に対するガス供給体制に問題が生じないか住民説明会において指摘があった。この問題について、スコーピング表に含め、その影響を最終報告書に記載すること。
9. 環境管理計画における緩和策を実施する頻度と期間を示す「frequency」の記載が不十分であるので、適切に修正すること。

### **環境配慮**

10. 実施機関は基本的に夜間工事を行わず、これによる騒音影響は生じない旨を最終報告書に記載すること。
11. 発電所を運転するために必要な水量の確保による影響について明確な評価を最終報告書に記載すること。

### **ステークホルダー協議**

12. EIA 及び当該調査における一連のステークホルダー協議を通じて行われた合意形成について、その経緯、ならびに、開催された協議毎の詳しい内容を丁寧に記載すること。

以 上